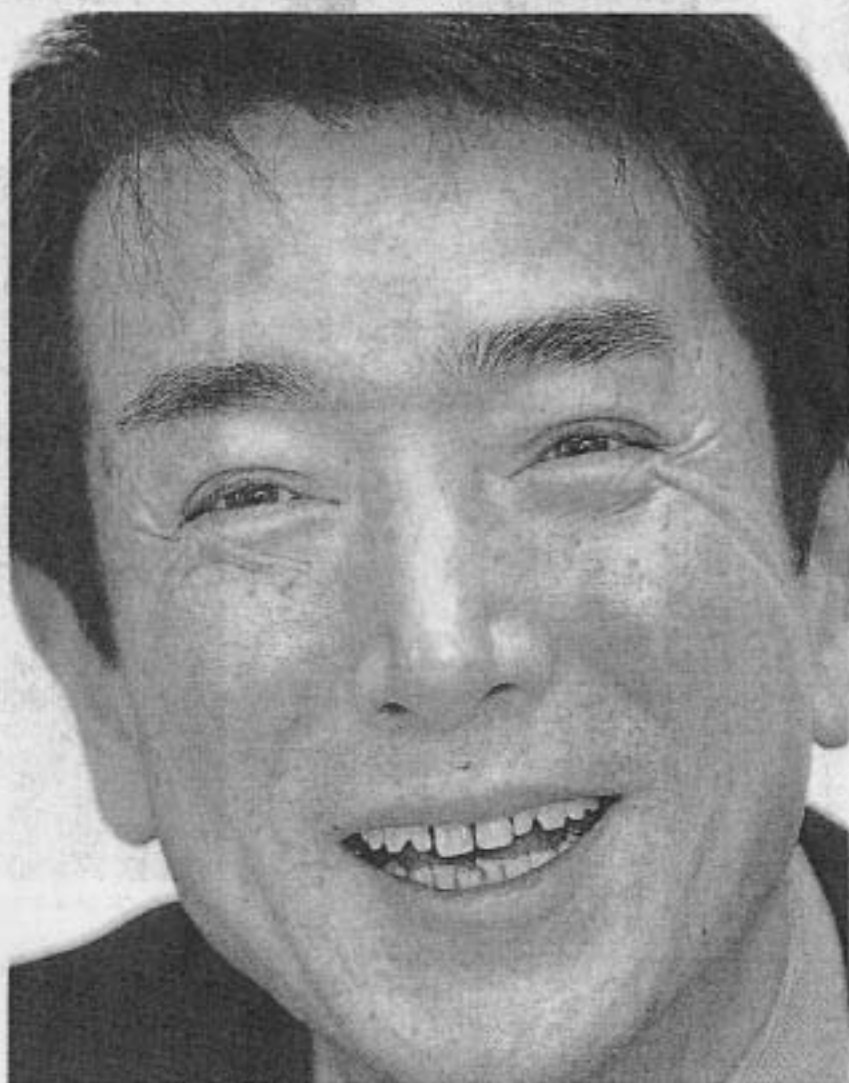


何事にもバランス感覚



高橋光男さん —高知市南御座

丸高 1949年、紳士服創業として創業、76年、紳士・婦人服創業「丸高株式会社」設立。本店は高知県高知市。資本金2000万円、従業員6人。現在、婦人服

×E

9割、紳士服1割。販路は高知県全域と愛媛、徳島両県の一部。店舗設計から商品仕入れ、売れ筋商品まで新規ブティックの開店ノウハウも提供している。

現のため商社を目指した。会社訪問も企業側から旅費が出るなど売り手市場の恵まれた時代だった。

信じ難い事故死

△七一年、総合商社トーマン(本社東京)に入社。本社石油部に配属される。

商社も活況に満ちていたころ。退社後も毎晩のように接待などの飲み会があった。直属の課長が出張先のソウルから商談成立のうれしい電話があった直後、宿泊先のホテル火災で亡くなるという信じ難い事故があった。数日後、羽田空港で遺体を引き取った悲しい思い出がある。選送きの課長だったが、まさに「企業戦士」

青年期に京都、長崎で暮らし、学び、たどったルートは坂本龍馬のようだと意気に感じたりもしたが…。

△四年後の七六年、「丸高株式会社」を設立する。高級ニット商品を中心に紳士服オーダーから既存スーツ、カジュアルウェアまで扱い、高知県内などのブティック、小売店に卸す。

業績も順調に伸び、二年に一度は従業員の海外慰安旅行もしていた。地方経済とともに卸売業を取り巻く環境は厳しく、最近婦人服中心に経営転換した。だが、土佐は派手な土地柄で高級品でもいいものはよく売れ、商売はしやすい。

△地元のリオンズクラブ設立に参加、役員を務めるほか、「高知村づくり運動」と称して、全国からの浄財で別荘を建設するなど地域参加にも積